



翔んで踊って舞って「第三ワールド」



カン カンカンドンドンコドン
 チャチャンチャチャン チャン
 チャンチャンドンドンドンドン
 ドンドン
 ヤットサー ヤット ヤットドン
 ドンドン
 踊る阿呆に見る阿呆同じ阿呆なら
 踊らにやそんそん

◇ ◆ ◇

第56回高円寺阿波おどりが8月25・26日に行われ、平成元年から参加している幸せ色の黄色ゆかたがトレードマークの「第三企画連」は本場徳島の有名連「殿様連」とコラボし、高円寺の夜空に「第三ワールド」の笑顔の花を咲かせた。

第三企画が得意とするのは、徳島出身の「音の魔術師」久米信廣社長の本場仕込みの重さ10キロもある鉦と、第三企画の印刷工場で重さ数十キロの紙と踊る紙業（神楽が日課の現場スタッフが中心となった大太鼓の鳴り物総勢17人が奏でる音曲は迫力満点。ズシリと地底から這い上がり魂を揺さぶるほどの力が込められている。

この暴れ太鼓に呼応するのが殿様連の暴れ踊り。手に「弓張提灯」を持ち、腰を落として鳴り物を合図に一気に駆け上がる差込が得意技で、ドドドッと十数メートルも駆け回る。

暴れ太鼓と暴れ踊りの組み合わせが絶妙で、観衆を興奮の坩堝に izazana。連と一体となった狂喜乱舞の「第三ワールド」が演じられるのが最大の特徴である。

第三企画連はこれまでも数々の賞を獲得しているが、昨年は「観衆を楽しませた」として「青梅市友好賞」を受賞した。「人の前に明かりを灯す」を企業理念に掲げる第三企画、そのエネルギーと爆発力は今年も健在だ。

踊り続けて24年 今年も幸せ色の黄色ゆかたで「第三企画連」

